

申込先・締切

公益財団法人 日本交通公社のホームページからお申し込み下さい。
http://www.jtb.or.jp
受付終了後、参加証および受講料請求書を送らせていただきます。

申込締め切り日：6月27日(水)

定員になり次第、締め切らせていただきますので、ご了承下さい。

【個人情報の取扱いについて】

ご記入いただく個人情報は当財団が定める個人情報の利用目的の範囲内で利用させていただきます。
個人情報の取扱いにつきましては当財団ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

公益財団法人 日本交通公社 観光政策研究部 担当：高橋・岩崎
Tel：03-5770-8430 Fax：03-5770-8359
E-mail：jtbseminar@jtb.or.jp



2017年度の講座の様子

平成30年度 観光地経営講座

～多様化する宿泊事業に対応する観光地経営～

ご案内

本講座は、時季に合ったテーマについて外部講師を招聘し、当財団の研究員が講師の方々の知見を引き出しながら受講者の皆様とも議論して、より理解を深めるスタイルにて開催いたします。今年度は「多様化する宿泊事業」を取り上げます。

観光地において宿泊産業が果たす役割は大きなものがあります。

昨今、地域外の事業者による投資の増加や、それに伴う「所有と経営の分離」の進展、さらには今年6月の住宅宿泊事業法（民泊新法）の施行など、既存の宿泊施設とは異なる事業形態が増加し、多様化が進んでいます。

本講座は、宿泊産業側・地域側それぞれの立場から講師を迎えて、現在進展しつつある宿泊事業の多様化の様相について解説いただき、観光地経営を担う自治体や観光協会等の観光関連団体、宿泊事業者の関係者の皆様にとって、地域外から投資を受け入れつつ観光地経営を進めていくヒントを得る機会となることを目指して開催いたします。

観光行政のご担当者、観光関連団体、商工会議のご関係者など、観光による地域振興に取り組む皆様のご参加をお待ちしております。

開催概要

日時：平成30年7月5日(木)10:30～6日(金)16:30 (予定)

会場：公益財団法人日本交通公社 ライブラリー会議室

〒107-0062 東京都港区南青山2-7-29 日本交通公社ビル
(青山一丁目駅 1番出口もしくは5番出口から徒歩3分)

主な対象者：観光による地域振興に携わる地方自治体のご担当者、

観光関連事業者、商工会議所などのご関係者、宿泊施設のご関係者

募集人員：32名(お申し込み順)

受講料：

▶テキスト『観光地経営の視点と実践』をお持ちの方

お一人様 17,000円/税込(当財団賛助会員 11,000円)

▶テキスト『観光地経営の視点と実践』をお持ちでない方

お一人様 20,000円/税込(当財団賛助会員 14,000円)

主催：公益財団法人 日本交通公社



『観光地経営の視点と実践』

7月5日(木) 開講10:30(開場10:00)

開講、オリエンテーション 10:30～10:40

【第1部】 多様化する宿泊事業と観光地経営のあり方

講義1 観光地経営の要諦となる8つの視点
10:40～12:00 【講師】 (公財)日本交通公社 理事 梅川 智也

テキスト『観光地経営の視点と実践』を用いて、「観光地経営」の要諦となる8つの視点について、具体例を紹介しつつ分かり易く解説します。

<昼食休憩60分> **希望者を対象に、当財団が運営する「たびの図書館」見学ツアーを実施予定**

自己紹介タイム
13:00～14:30

受講者の皆様には事前に「自己紹介シート」(所属団体/役職/観光に関わっている期間/現在の課題・問題意識/当講座への期待(最も学びたいこと、期待する講義など)等)を提出いただきます。受講に先立って自らの地域の課題を再確認するとともに、当日、お一人ずつ簡単にお話しいただくことで、受講者間で共有し、課題解決のヒントを見出す一助とします。

<休憩10分>

講義2 多様化する宿泊事業と地域との関係
14:40～15:40 【講師】 (公財)日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一

様々な社会経済環境の変化によって多様化している宿泊事業の概況と、宿泊事業者と地域との関係性について整理します。

<休憩10分>

【第2部】 宿泊事業者の思考と事業構造

講義3 宿泊事業投資の国際的な潮流
15:50～17:20 【講師】 ジョーンズ ラング ラサル(株) 取締役執行役員 沢柳 知彦 氏

活発化する国際的な宿泊事業投資の動向や、グローバルな視点から我が国の宿泊事業について解説します。

<休憩25分>

意見交換・交流会
17:45～19:15頃 受講者同士および講師との交流
軽食・お飲み物を用意しております。

講師、講義内容、登壇日は、やむを得ず変更となる場合がございます。

7月6日(金) 開講9:15(開場9:00)

導入解説 9:15～9:25

講義4 地域外からの投資による宿泊事業の展開
9:25～10:55 【講師】 (株)星野リゾート 取締役 海外運営統括 佐藤 大介 氏

地域外から宿泊事業へ投資する際の地元地域との関係性構築の進め方などについて、これまで青森屋やトマムの総支配人を務めた実体験も交えながら解説します。

<休憩10分>

講義5 コンドミニアム事業の展開
11:05～12:35 【講師】 Japan Premium International (株) 代表取締役社長 大久保 実 氏

滞在型観光を推進するにあたって選択肢の一つとなるコンドミニアムについて、ひらふを中心とした事業展開の経緯と現状について解説します。

<昼食休憩60分>

講義6 民泊の動向と対策
13:35～15:05 【講師】 (資)野上旅館 代表社員 野上 泰生 氏

旅館経営者として、また、「オンパク」など観光地域づくりに長年取り組む講師が、居住系不動産を活用した簡易宿泊事業を展開するに至った経緯や現状を解説します。

<休憩10分>

【第3部】 総括: 地域はこれから宿泊事業とどのように付き合うか

総括 地域と宿泊事業の付き合い方
15:15～16:15 【講師】 (公財)日本交通公社 観光政策研究部長 山田 雄一

本講座で紹介した宿泊事業者の事例を踏まえて、受講者自身が関係する地域に引き寄せて今後のヒントを得られるように、総括的解説を行います。

<アンケート記入>
閉講 16:30

【全体進行】 (公財)日本交通公社 主任研究員 岩崎 比奈子